

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		鹿児島大学		設置者名	国立大学法人 鹿児島大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数	
教育学部	学校教育教員養成課程	225人	小一種免	平成11年度	216人	210人	79人	
			中一種免(国語)	平成11年度				146人
	高一種免(国語)	平成11年度	24人					
			高一種免(書道)	平成11年度			23人	
			中一種免(社会)	平成11年度			7人	
			高一種免(地理歴史)	平成11年度			27人	
			高一種免(公民)	平成11年度			23人	
			中一種免(数学)	平成11年度			15人	
			高一種免(数学)	平成11年度			21人	
			中一種免(理科)	平成11年度			20人	
			高一種免(理科)	平成11年度			23人	
			中一種免(音楽)	平成11年度			23人	
			高一種免(音楽)	平成11年度			12人	
			中一種免(美術)	平成11年度			12人	
			高一種免(美術)	平成11年度			9人	
			高一種免(工芸)	平成11年度			9人	
			中一種免(保健体育)	平成11年度			0人	
			高一種免(保健体育)	平成11年度			27人	
			中一種免(技術)	平成11年度			27人	
			高一種免(工業)	平成11年度			13人	
			高一種免(情報)	平成13年度			7人	
			中一種免(家庭)	平成11年度			15人	
			高一種免(家庭)	平成11年度			13人	
			中一種免(英語)	平成11年度			13人	
			高一種免(英語)	平成11年度			15人	
			幼一種免	平成11年度			15人	
							40人	
	養護学校教員養成課程	15人	養学一種免	平成11年度	13人	13人	2人	
	生涯教育総合課程	35人			34人	15人	8人	
			中一種免(英語)	平成11年度				7人
			高一種免(英語)	平成11年度				7人
			中一種免(保健)	平成11年度				0人
			高一種免(保健)	平成11年度				0人
	養教一種免	平成11年度	8人					
法文学部	法政策学科	95人			130人	8人	0人	
			中一種免(社会)	平成11年度			2人	
			高一種免(公民)	平成11年度			8人	

	経済情報学科	145人	中一種免(社会) 高一種免(地理歴史) 高一種免(公民) 高一種免(商業)	平成11年度 平成11年度 平成11年度 平成11年度	146人	17人	7人 8人 7人 7人	0人
	人文学科	155人	中一種免(社会) 中一種免(国語) 中一種免(英語) 高一種免(国語) 高一種免(地理歴史) 高一種免(公民) 高一種免(英語)	平成11年度 平成11年度 平成11年度 平成11年度 平成11年度 平成11年度 平成11年度	162人	49人	7人 10人 8人 11人 21人 2人 16人	8人
理学部	数理情報科学科	40人	中一種免(数学) 高一種免(数学) 高一種免(情報)	平成9年度 平成9年度 平成14年度	47人	28人	21人 27人 14人	8人
	物理科学科	45人	中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(情報)	平成9年度 平成9年度 平成14年度	47人	19人	2人 19人 7人	1人
	生命化学科	50人	中一種免(理科) 高一種免(理科)	平成9年度 平成9年度	51人	21人	5人 21人	1人
	地球環境科学科	50人	中一種免(理科) 高一種免(理科)	平成9年度 平成9年度	43人	13人	5人 13人	2人
	工学部	機械工学科	94人	高一種免(理科) 高一種免(工業)	平成14年度 平成4年度	72人	3人	1人 2人
	電気電子工学科	78人	高一種免(理科) 高一種免(工業)	平成14年度 平成4年度	85人	2人	0人 2人	0人
	建築学科	55人	高一種免(理科) 高一種免(工業)	平成14年度 平成2年度	45人	6人	2人 4人	0人
	応用化学工学科	60人	高一種免(理科) 高一種免(工業)	平成14年度 平成2年度	63人	10人	8人 2人	0人
	海洋土木工学科	48人	高一種免(理科) 高一種免(工業)	平成14年度 平成2年度	57人	12人	1人 11人	0人

	情報工学科	60人	高一種免(理科) 高一種免(情報)	平成14年度 平成13年度	59人	1人	0人 1人	0人
	生体工学科	60人	高一種免(理科) 高一種免(工業)	平成14年度 平成9年度	45人	6人	1人 5人	0人
農学部	生物生産学科	80人	中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(農業)	平成11年度 平成11年度 平成11年度	77人	15人	2人 11人 10人	1人
	生物資源化学科	60人	中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(農業)	平成11年度 平成11年度 平成11年度	67人	16人	0人 16人 3人	0人
	生物環境学科	65人	中一種免(理科) 高一種免(理科) 高一種免(農業) 高一種免(工業)	平成11年度 平成11年度 平成11年度 平成11年度	72人	11人	0人 8人 7人 0人	1人
水産学部	水産学科	130人	高一種免(水産) 高一種免(理科)	昭和50年度 昭和50年度	123人	16人	3人 14人	3人
	水産教員養成課程	10人	中一種免(理科) 高一種免(水産) 高一種免(理科)	昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度	12人	12人	6人 12人 6人	1人
入学定員合計		1,655人	合計		1,666人	503人		115人
備考	・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科等の実人数を、右側には学科等内の教員免許課程ごとの人数を記載している。							

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度から、教職を希望する学生に対する支援体制を整えるため、教育学部附属教育実践総合センターを拡充し、教職支援室を新設するなど、大学全体として教員養成体制の整備・充実を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員養成に関する教育課程、教員組織等について、全般的に基準を満たしており良好に実施されている。今後は、教育学部を中心として、さらに全学的な教員養成の意識の向上とともに、そのための組織づくりに努めてほしい。
個別的事項	教員養成に対する理念等	<ul style="list-style-type: none"> 教員養成に対する理念・構想が明確化されており、それを具体化するための全学的な組織、教育課程・教員組織等が十分整備されているので、今後とも教育委員会との連携を一層図りつつ、教育実践総合センターを中心とする教員養成改革の成果をさらに発揮してほしい。
	教育課程 教職に関する科目等	<ul style="list-style-type: none"> 【初等教育教員養成課程】 ・授業科目「教育心理学概説」において、教育職員免許法施行規則(以下「施行規則」という。)に定められている「各科目に含めることが必要な事項」(以下「必要事項」という。)である「障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」が含まれていることがシラバスに明示されていない。 ・授業科目「国語科教育Ⅰ」等、一部の授業科目において、使用する教科書又は参考書に学習指導要領が明記されていない。 ・授業科目「道徳教育論」において、施行規則に定められている必要事項である「道徳の指導法」が含まれていることがシラバスに明示されていない。 ・授業科目「教育学Ⅲ」「教育方法学概論Ⅱ」において、施行規則に定められている必要事項である「情報機器の活用」「教育課程の意義及び編成の方法」「特別活動の指導法」が含まれていることがシラバスに明示されていない。 ・授業科目「教育方法学概論Ⅰ」において、施行規則に定められている必要事項である「特別活動の指導法」「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)」が含まれていることがシラバスに明示されていない。

・授業科目「学校臨床心理」「児童生徒理解の心理」において、施行規則に定められている必要事項である「進路指導の理論及び方法」が含まれていることがシラバスに明示されていない。

・授業科目「学校教育カウンセリング」において、施行規則に定められている必要事項である「幼児理解の理論及び方法」が含まれていることがシラバスに明示されていない。

・授業科目「総合演習」について、担当教員によって本来の科目の設置趣旨に合致していない授業科目がある。

・「総合演習」は、本来の科目の設置趣旨に沿って改善を図ること。すべての学生が複数のテーマを網羅的に履修できるように、授業科目の内容・履修方法を検討し、シラバスには、授業内容の具体的なテーマを明示すること。

【中等教育教員養成課程】

・授業科目「教職研究」において、施行規則に定められている必要事項である「教職の意義及び教員の役割」「教員の職務内容(研修、サービス及び身分保障等を含む)」「進路選択に資する各種の機会の提供等」が含まれていることがシラバスに明示されていない。

・授業科目「教科外活動論」において、施行規則に定められている必要事項である「特別活動の指導法」が含まれていることがシラバスに明示されていない。

・授業科目「教育学Ⅲ」において、施行規則に定められている必要事項である「情報機器の活用」が含まれていることがシラバスに明示されていない。

・授業科目「教育方法学概論Ⅰ」において、施行規則に定められている必要事項である「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)」が含まれていることがシラバスに明示されていない。

・授業科目「教育方法学概論Ⅱ」において、施行規則に定められている必要事項である「情報機器及び教材の活用」が含まれていることがシラバスに明示されていない。

・授業科目「生活指導論」「生活指導論Ⅱ」において、施行規則に定められている必要事項である「進路指導の理論及び方法」が含まれていることがシラバスに明示されていない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスにおいて、担当教員によって記載の程度に差異が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程の担当教員は、「教職に関する科目」の担当教員だけでなく「教科に関する科目」の担当教員も、教職課程の授業科目を担当しているという意識を持つように大学として働きかけを行って、全学的に大学の教員養成に対する理念を確認し、シラバスを総点検してほしい。
教育実習	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次、3年次、4年次にそれぞれ実習を行い、教育実習連絡協議会を通じて、教育実習の在り方、問題点、要望等について適宜協議を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の教育課程の中に適切に位置付けられ、実習校や教育委員会との連携協力を図るなど、その円滑な実施に努めている。 ・教育実習を、2年次から段階的に実施し、積み重ねていくことの効果を生かして、実践力向上に資する教育実習を一層充実してほしい。
教職指導、介護等体験等	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次を対象とした自由選択科目「学校環境観察実習」を開設し、離島の小中学校を訪問し、児童生徒や教員との交流を通じて学生の教職に対する動機付けを図っている。 ・その他、授業科目ではないが、「地域ボランティア派遣」、「メイクふれんず事業」、「附養クラブ」などの取組みを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離島地域における採用を踏まえた複数免許取得等、地域の特色や要望に応じた履修指導をより一層充実してほしい。 ・地域の特色を生かした体験活動、ボランティア活動について一層充実させてほしい。
免許状取得状況及び教員就職状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし。
施設・設備の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教員養成のための研修プログラムの開発と実施を目的とする教育学部附属教育実践総合センターが開設されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属教育実践センターは、実践的指導力を身に付けた教員養成に資するための貴重な施設である。今後、教育委員会との連携を図りつつ、研修プログラムを開発してどのように一層の充実を図り、機能させていくのかが重要である。 ・図書館は、学生の資質向上のために、教員養成等に関する新しい資料や最新の雑誌の補充に常に努めてほしい。